

森林教室のご案内



目 次

- 1 高尾森林ふれあい推進センターとは.....1
- 2 森林教室1
- 3 森林教室のメニュー2
- 4 クラフト体験、森林教室の実施基準4
- 5 森林教室の実施当って5
- 6 ご協力をお願い5
- 7 森林教室を支えるボランティア.....6
- 8 施設へのアクセス7

高尾森林ふれあい推進センター

1 高尾森林ふれあい推進センターとは？

高尾森林ふれあい推進センターは、国（農林水産省 林野庁 関東森林管理局）の機関として、国民の皆様に森林や林業に対する理解を深め森林と親しんでいただくため、主に高尾山の国有林野を活用して各種イベントを行っています。

特に、次代を担う子どもたちに、森林内での体験活動などを通じて人々の生活や環境と森林との関係について楽しみながら理解できる学習の場を提供する「森林環境教育」を推進しています。

このほか、NPO等の自然再生活動、生物多様性の保全に関する活動に対する技術的支援等に取り組んでいます。

2 森林教室

(1)目的

小学校4～6年生を対象として、森林・林業についてより深く学び理解できるよう、高尾山の国有林をフィールドとして体験・学習する「森林環境教育」を行っています。

(2)内容

森林教室の内容は、大きく分けて「森林学習」「森林観察」「丸太切り」や「炭焼き体験」などの講義・実習があり、学習したい内容ごとに組み合わせることも可能です。

(3)実施場所

当センター庁舎や日影沢キャンプ場の周辺を主に行います。

(4)対象機関

教育機関を対象とします。（実施基準によります。P7 参照）

費用は無償ですが、交通費や保険料等は学校の負担となります。



森林観察



タカオスミレ

(5)日程※例示です

場所：日影沢キャンプ場および周辺の国有林

項 目	時 間	所要時間	備 考
日影バス停着	9:20		
日影沢キャンプ場着	9:20～9:40	0:20	徒歩により移動
開校式	9:40～10:00	0:20	開校式・トイレ
森林観察	10:00～11:40	1:40	班に分かれて実施
昼食	11:40～12:20	0:40	昼食・記念撮影
森林学習・丸太切り	12:20～13:10	0:50	管理棟内で実施
丸太切り・森林学習	13:10～14:00	0:50	班に分かれて実施
閉校式	14:00～14:20	0:20	閉校式・トイレ
日影沢キャンプ場発	14:20～14:40	0:20	徒歩により移動
日影バス停着	14:40		

※最大人数は90名となります。**※路線バスをご利用ください。**

場所：センター庁舎(京王線高尾山口駅から徒歩5分)

項 目	時 間	所要時間	備 考
駐車場着	10:00		
センター庁舎着	10:00～10:10	0:10	徒歩により移動
開校式	10:10～10:30	0:20	開校式・トイレ
森林学習・丸太切り	10:30～11:20	0:50	管理棟内で実施
丸太切り・森林学習	10:30～11:20	0:50	班に分かれて実施
閉校式	11:20～11:40	0:20	閉校式・トイレ
センター庁舎発	11:40		

※当センターには駐車場がありません。近隣の駐車場を学校で確保していただきます。

(6)森林教室のメニュー

① 森林観察

森林観察は、日影沢キャンプ場をスタートして歩道と林道の約1.5 kmを1時間 40 分程度で一周するコースを散策しながら、スタッフが森林・林業や動植物などについて解説をします。

解説は、「森林の働き」を中心に、「樹木や野草の特徴」「間伐の必要性」「地球温暖化」「森林の土壌」など、実物を見て森林にふれあいながら行います。

森林観察では、日影沢キャンプ場周辺の国有林内の遊歩道や林道を歩きます。

途中には、人工林と天然林、多様な植生、清水の流れる沢、動物のすみか、治山施設などがあり、様々な自然を体感することができます。

②森林学習

森林・林業への理解を深めてもらうために、パワーポイントにより森林学習を実施します。パワーポイントによる学習では、「森林の現状」「森林の役割」「日本の林業」などについて、子どもたちに問いかけながら進めることで、より効果的な森林環境教育を実施します。

③丸太切り

子どもたちに人気のある体験です。ノコギリを使用し自分の力だけで丸太を切る達成感を体験することができます。間伐材を切って利用するという林業の一端を体験することにもつながります。



④炭焼き体験

日影沢の自然学習体験施設(炭焼小屋)で炭焼きを体験できます。

バイオマスエネルギーである木(炭)を燃料として使うことの意義を学習できます。

炭焼き体験は2日間で実施します。1日目は炭窯の火入れと森林学習や花炭作り、2日目は窯出しをします。出来上がった炭は持ち帰ることができます。

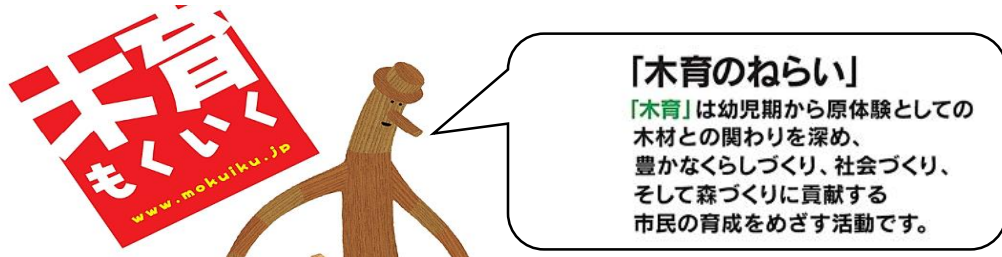


花炭ができました！

3 クラフト体験

木材の良さやその利用の意義を学ぶ教育活動「**木育**」を普及するために、幼稚園・保育所・特別支援学校(学級)、小人数の小学校などの教育機関等を対象としたクラフト体験を実施しています。

クラフト体験は1時間程度で、登山などの野外学習の後でもクラフト体験ができます。
(※教育関係機関に限り、当センター内での昼食も可能です。)



4 森林教室の実施基準

(1) 申請書等により依頼内容を精査し、依頼案件が次に掲げる基準のいずれかに該当する時は、森林教室をお受け付しています。ただし、日程及び実施内容が他の行事との重複、実施規模、内容に無理があるなど、森林教室の依頼をお断りすることがあります。

- ① 国又は国の主催による場合
- ② 政府関係機関(独立行政法人、特殊法人及び認可法人)
- ③ 教育機関又は学会等であって、その目的及び事業の内容が公共性の高い機関であること
- ④ 次項(2)以外の団体等で信用確実であり、その目的及び内容が妥当と当センター所長が認める場合

(2) 次の各号の一つに該当する場合、依頼を受けることができません。

- ① 営利・宣伝行為、政治・宗教活動を目的とする団体・集団又は個人
- ② 常習的に暴力的不法行為を行うおそれのある組織と認められる団体・集団又は個人
- ③ 依頼内容に係る参加者への社会的責任及び賠償責任を負えないおそれのある団体・集団又は個人と判断される場合
- ④ 依頼書等及び審査に必要な書類に虚偽の事実を記載した者又はこれを代理人、支配人その他の使用人として使用する者

5 森林教室の実施に当たって

(1) 申込方法

森林教室の申込みは、事前に当センターに電話で問い合わせをいただき日程および実施内容等を調整のうえ、申込用紙を次頁の様式をコピーするか、当センターのホームページからダウンロードして記入し、提出してください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

(2) 事前準備

可能であれば事前に森林の働きや林業、環境問題などについて勉強してきてください。

(3) 森林教室の進め方

- ・ 司会進行は学校(児童)が行ってください。
- ・ 当センターは開校時の①所長挨拶②注意事項説明、閉校時に③閉校挨拶を担当します。
- ・ 閉校時に生徒代表から感想を発表させてください。

(4) 森林教室を実施する際の注意事項

- ・ 丸太切り等の作業用の手袋(軍手)を児童各自持参ください。
- ・ 肌が露出しない服装(長袖、長ズボン、ハイソックス)と帽子、運動靴で参加してください。
- ・ 現地の水道は飲めません、飲料用水(水筒)を必ずお持ちください。
※夏場は子供の飲料が足りなくなった時、の予備の飲料を学校でご用意ください。
- ・ 高尾山は国定公園、保安林等に指定されているため、動植物の採取はできません。
- ・ スタッフの指示に従って行動してください。走る、追い越す、ふざける、押すなどの危険な行為は禁止します。
- ・ 蜂などの危険な生物を見つけた場合は、騒がずに近くのスタッフにお知らせください。
- ・ ゴミは必ずお持ち帰りください。

(5) 当センターの都合により、森林教室を中止させていただく場合もあります。

6 ご協力をお願い

(1) 作文コンクールについて

毎年、森林作文コンクール実行委員会(関東森林管理局東京事務所と一般社団法人東京林業土木協会)が主催の「**森林は友達！作文コンクール**」を実施しています。

これは「森林教室や体験林業」に参加した小学生(4～6年生)を対象として、感じたこと、学んだことを作文にすることによって、森林・林業等に関する理解や関心をより一層深めてもらうことを目的としています。作文コンクールは、平成9年度から始まり、これまでの参加人数は2万人を超えています。

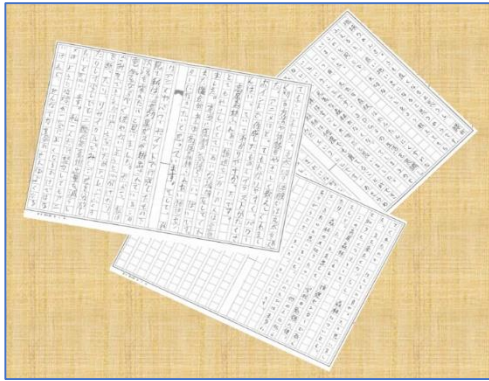
作成にあたってのポイントは、森林教室で体験したことについて、

- ① 子どもたちが自然の中で感じた「思い」「疑問」「感動」を素直に表現する。

- ② 確かな知識を学習したことを書く。
- ③ 表現を工夫し、オリジナリティを出す。
- ④ 作文の構成(段落等)、誤字脱字に注意し、読みやすい綺麗な文字で書く。

などに留意してください。感想を作文に残すことにより強く心に焼き付けることができるのではないのでしょうか。

なお、参加は任意ですが、学校・クラス単位での参加となります。



応募作文



参加者全員がもらえる木製温度計

(2) 写真撮影について

写真撮影は、イベントの実施記録や当センターの広報誌「Forest通信」等に掲載するため、森林教室や体験の際に撮影させていただきます。ただし、生徒さんの顔や個人が特定できる情報とならないよう留意しますので、ご理解とご了承をお願いします。

7 森林教室を支えるボランティア

～官民協働で子供たちの森林環境教育等をサポート！～

高尾森林ふれあい推進センターでは、森林教室や体験林業等のイベントをサポートしていただくため、一般公募し一定の条件を満たした方の中から、関東森林管理局長が「フォレストサポートスタッフ(FSS)」を委嘱しています。この森林ボランティアの皆さんと協働して、森林観察、丸太切り、炭焼き体験、イベントの技術支援や安全確保などを行うことにより、森林環境教育の充実と安全な運営に努めています。



森林教室をサポート



丸太切り用の丸太を準備

8 施設へのアクセス

(1) 高尾森林ふれあい推進センター庁舎（京王線高尾山口駅から徒歩約5分）



(2) 日影沢キャンプ場

<自家用車>

○高尾方面から

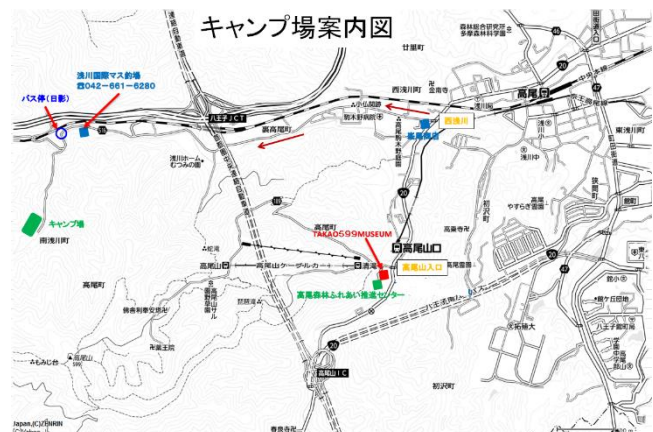
JR高尾駅前から国道20号線を相模湖方面に約1km地点の西浅川交差点を右折し、都道516号線を小仏方面に約3km進んだところにある日影林道入り口から約600m地点

○相模湖方面から

京王線高尾山口駅前から国道20号線を高尾駅方面に約1km地点の西浅川交差点を左折し、都道516号線を小仏方面に約3km進んだところにある日影林道入り口から約600m地点

<路線バス>

京王バス高尾駅北口バス停から小仏行きに乗車し日影バス停下車。日影林道を徒歩10分



林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 八王子市高尾町 2438-1

TEL 042-663-6689

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

